

◆最優秀賞◆

挑戦出来た自分

春日野 中学校 三年

林 佑 貴 斗

「美術部部長の林佑貴斗です。」

まさか自分がこのような自己紹介をすることになるとは思ってもいませんでした。

僕は美術部に所属しています。小さい頃から絵を描いたり、何かを作ったりすることが好きで入学前から入部することを決めていました。入部後、先輩方と過ごす中で「部長」という役割を担っている先輩に対して、部室の開錠や部員の前での挨拶など、やらなければならないことが増えるのは「面倒くさそう。」「教室で話すだけでも緊張するのに、壮行会や部活動紹介などで全校生徒の前で話すなんてよく出来るなあ。」という印象を漠然と抱いていました。少なからず、僕自身が率先して立候補したいとは思っていませんでした。しかし、一つ上の部長と顧問の先生の存在で、この考えが変わりました。一つ上の部長は、全校生徒の前で話すときでも堂々としていて、部員と接するときはとても優しく、心から尊敬していました。また、顧問の先生は、部員が作品について困っていたり悩んでいるときには、丁寧にわかりやすく的確な指導を下さっていました。先生として部活動以外でもとても忙しい中、部活動にも一生懸命向き合ってくさる姿はとても格好良いです。僕は、その先輩と先生に憧れました。このような素敵な人達がいたことで、いつしか、「自分もこんな人になりたい。」と思うよ

うになりました。こうして、以前の考えよりも、「部長になりたい。」という気持ちが強くなり、僕は迷わず立候補しました。僕は部長として選出され、皆が拍手で迎え入れてくれたことが嬉しかったと同時に、部を引っ張っていくという責任感で、気が引き締まりました。

部長になってからは、やらなければならないことは格段に増えましたが、以前とは違い、責任をもって部室の開錠をしたり、部員の前で挨拶をしたりすることが「面倒なこと」から「誇らしいこと」に変わっていました。また、部員の前で話す時も、以前のような緊張は無くなっていました。それは、僕が前で話している時の皆の表情がとても真剣で、緊張する必要は無いと気付けたからです。そして、壮行会など、全校生徒がいる前でも落ち着いて堂々と話すことができました。以前は人前で話すなど無理だと思っていた自分が、大勢の人前で堂々と話せたことに驚くと共に、日々の経験が自分を少し成長させてくれたように感じました。そして、この経験を積むことが出来た部長に立候補して本当に良かったと思えました。僕は部活動を通して、難しいと思っていることでもほんの少し勇気を出して挑戦してみることが大きな成長に繋がることを学びました。

卒業まであと半年、部長としての責任を全うし、自分が憧れた先輩や顧問の先生のような人に少しでも近づいて卒業したいです。